

シルクロードの舞台へ

イスタンブール

アジアとヨーロッパを繋ぐ都市、イスタンブール。ビザンチン帝国、オスマン帝国の首都だったイスタンブールは、アジアとヨーロッパの2つの文化を持つ都市として栄えました。

ブルーモスク



カッパドキア

標高1000メートルを超えるアナトリア高原中央部に位置するカッパドキア。キノコや煙突のような形の奇岩が林立し巨岩がそびえる景観はまさに自然の驚異です。

トルコ (P.33～36参照)



キャラバンサライ

シルクロードを旅する隊商隊の宿泊施設。商売の場、安息の場、情報交換の場として機能し、ラクダが1日に歩く距離(20～30 km)毎に設けられたそうです。



パムッカレ

トルコ語で「綿の城」という意味を持つパムッカレ。地中からしみ出た温泉の石灰分が崖を流れ、アナトリア高原の丘陵地帯に純白の棚田のような景観を生み出しました。

ペトラ

岩山に囲まれたペトラは、シルクロードの交易都市として栄え、中継交易や通行税の徴収によって財を成し、紀元前1世紀頃にはアンマン、ダマスカスまで勢力を伸ばし最盛期を迎えました。



エル・ハズネ／ペトラ遺跡



ベル神殿／パルミラ遺跡

パルミラ

紀元前1世紀から紀元後3世紀にかけて、東西交易の要衝として築かれたオアシス都市。シルクロードを行きかう隊商たちが立ち寄ったパルミラは、その美しさから「シルクロードのバラ」とも呼ばれていました。



シェイク・ロトフォーラー・モスク

イスファハン

「イスファハンは世界の半分」とも言われたほどの輝きを見せたオアシス都市イスファハンは、16世紀末からサファビー朝の首都として栄え、シルクロードの要衝として発達しました。



ヒヴァ

ヒヴァのイチャンカラ(内城)は、中世にタイムスリップしたような町。城壁に囲まれたこの町は、まさに博物館都市といえます。



ブハラ

2500年以上の歴史を持つブハラ。16世紀と変わらない風景が今でも残されています。

テヘラン

4000m級の峰が連なるアルボルズ山脈の麓に広がるイランの首都テヘランも、かつてシルクロードの要衝として栄えました。

●イスファハン

●ヤズド

●ペルセポリス

シラーズ



エラム宮殿

シラーズ

ペルシャ語で「楽園」という意味を持つエラム庭園内には、エラム宮殿、その正面には花に囲まれた池があり、芸術品のような完成度の高い美しさを見せています。バラのシーズンは5～6月。

アラル海

キジルクム砂漠

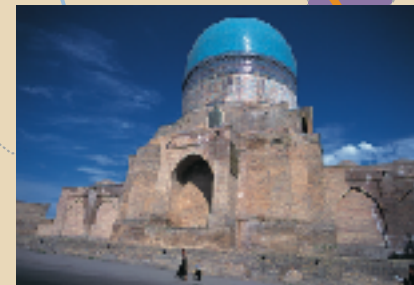
●ヒヴァ

ウズベキスタン (P.41～42参照)

●ブハラ

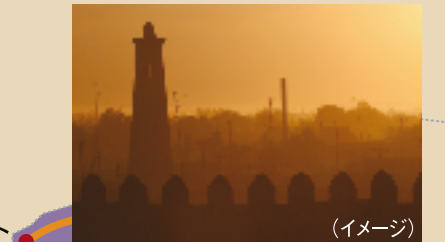
●サマルカンド

●シャフリサブス



シャフリサブス

ティムールが生まれ愛した町。アク・サライ宮殿やティムールの息子たちのお墓など、ティムールゆかりの地が数多く残されています。



(イメージ)

ウズベキスタンが一番美しく見えるのは、陽が傾く夕方頃です。街から人々が少なくなり、土色の壁が夕陽で赤く染まった時、まさにシルクロードのイメージが重なって見えてきます。



サマルカンド

モンゴル軍により破壊されたサマルカンドを、ティムールは見事に甦らせました。サマルカンドの町の中心、レジスタン広場に立つと、ティムールの情熱を感じずにいられません。

東西融合を感じさせる中央アジアの人々ウズベキスタン料理



東洋的とも西洋的ともいえる中央アジアの人々の表情や料理。ここは東西文化の十字路であったことが感じられます。



ピラウ(イメージ)



マントウ(イメージ)